第2号様式

整理番号	04

川崎市SDGsプラットフォーム分科会　活動報告書

提出日	2025年2月28日

分科会名	「健康経営を探求し構想し実現を目指す」分科会

分科会長	事業者名	活動計画書（第1号様式）に記載の通り
	所在地	
	担当者名	
	メール	
	電話番号	

1　分科会の設立目的・趣旨・概要

※活動計画書（第1号様式）の記載内容から変更なければ記載不要

活動計画書（第1号様式）に記載の通り

2　活動報告・活動結果

※成果報告会用の報告書で代用可能

別添「成果報告書」参照

KAWASAKI SDGs

川崎市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

健康経営を探求し構想し実現を目指す

健康経営分科会 活動報告

川崎市SDGsプラットフォーム　健康経営分科会

吉田 省三　　株式会社エス･イー･アイ

広瀬 啓　　東横化学株式会社

畔柳 昌孝　　よかよかＦＰ社労士事務所

美和 清二　　有限会社アクア環境テクノロジー

石川 隆英　　明治安田生命保険相互会社

中村 波雄 氏　サポート＆アドバイザー
アテネ＆北京オリンピック 日本柔道チーム トレーナー

川崎市SDGsプラットフォーム　健康経営分科会 活動報告

分科会開催６回　ビジネスゲーム開催３回　フェスティバル 出展２回

分科会活動年月日	分科会活動場所
2024年　4月23日 (火）15:30~17:00	明治安田生命 社会議室
2024年　6月11日（火）15:30~17:00	明治安田生命 社会議室
2024年　8月9日（金）　15:30~17:00	健康経営フェスティバル 出展
2024年　8月27日（火）13:00~17:00	川崎信用金庫本店 大会議室
2024年　9月17日（火）15:30~17:00	東横化学株式会 社会議室
2024年　10月1日（火）13:30~16:30	てくのかわさき　第5研修室
2024年　11月6日（水）13:00~17:30	明治安田生命 社会議
2024年　12月10日（火）11:30~12:00	川崎市経済労働局訪問
2024年　1月15日（水）10:00~13:00	すくらむ21　会議室
2025年　1月18日（土）０８:00~12:00	平間SDGsフェスティバル 出展
2025年　2月7日（金）　15:30~17:00	東横化学株式会 社会議室

8月9日（金）

健康経営フェスティバル2024 出展

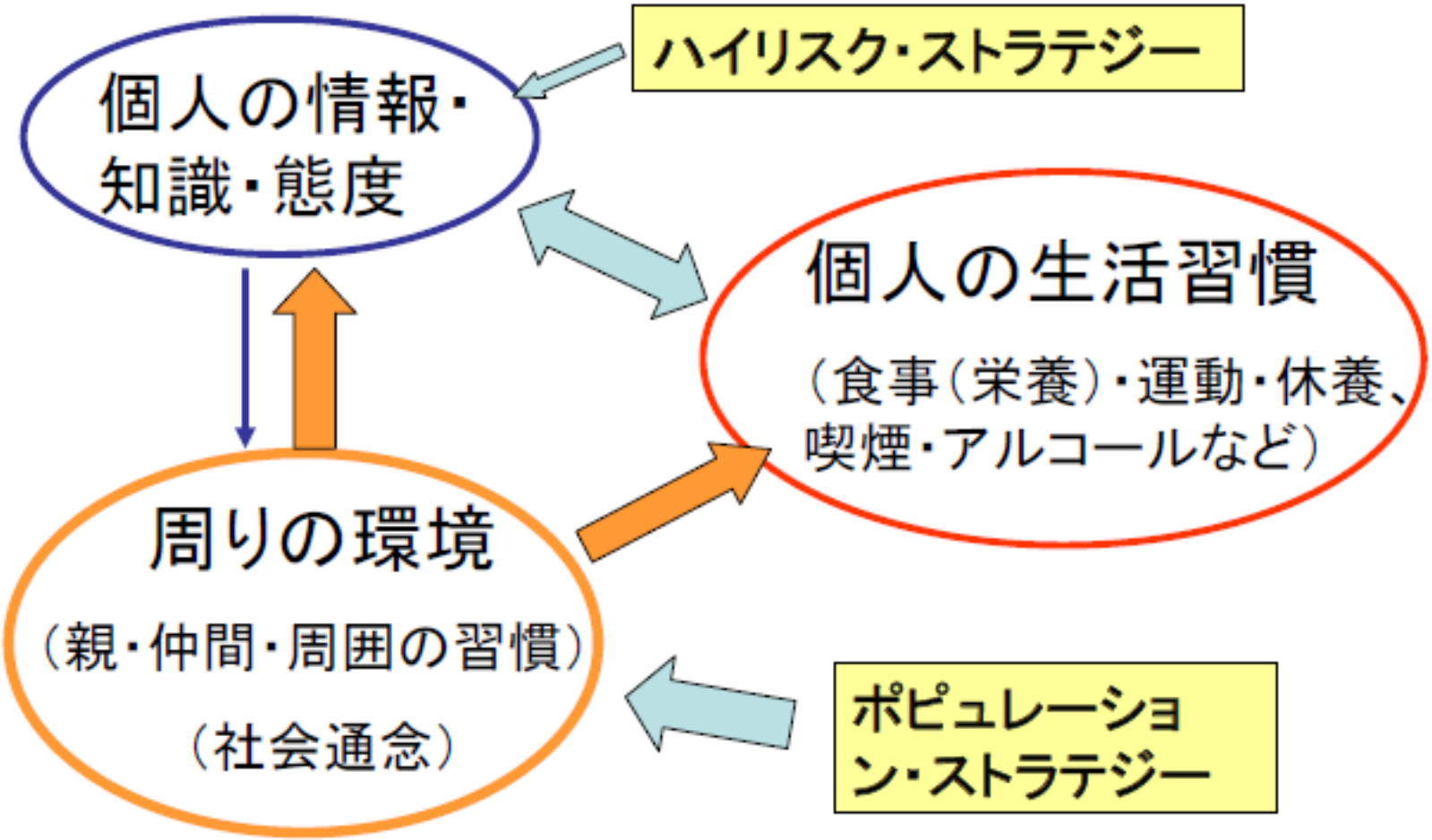
会場：ネクシーズスクエアビル

健康経営フェスティバルでは、企業の健康経営促進を目的とした最新のサービスや製品が紹介され、企業関係者、健康産業従事者など多数の参加者が集いますので、**多方面の健康経営に関する情報収集**を目的として出展しました。

当分科会のブースでは、**川崎市が取り組んでいる健康経営に関する情報提供**や、**企業がどのようにSDGsの観点から健康経営を取り入れられるか**についての提案を行いました。

また、分科会会長で、一般社団法人 国連支援SDGS促進協会の理事でもある吉田が**「国連が考える、健康経営とは」**というテーマで講演しました。

自分の生活習慣は自分で決めていない
ハイリスク・ストラテジーとポピュレーション・ストラテジーの組み合わせが重要



（水嶋春朔：地域診断のすすめ方：根拠に基づく生活習慣病対策と評価　第2版、医学書院、2006）

SDGs

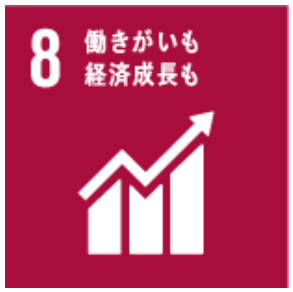
国連が目指す持続可能な開発目標(SDGs)の達成に寄与する健康経営の価値

SDGs17のゴール全てに健康経営は繋がりを見いだされますが、特に、

SDG 3 「すべての人に健康と福祉を」

SDG 8 「働きがいも経済成長も」

SDG 10 「人や国の不平等をなくそう」



などに関連し、健康経営は従業員の健康と福祉を向上させることで、
経済成長と社会的平等を促進する手段とされています。

8月27日（火）

健康経営の本質理解

ベジチェック

川崎市SDGsプラットフォーム
「健康経営を探求し構想し実現を目指す分科会」主催

健康と業績の連動・関係の質・健康投資の重要性と国連が考える健康経営の重要性を理解し
参加費無料で
健康経営の本質理解と実践を体験しませんか！

本講座ではカードゲームとSDGsとESG、健康経営の概念図で、下記のような学びを深めます

- ○ 業績達成のために社員の心や体を犠牲にしないようにする方法
- ○ SDGsとESGそして健康経営が相互に深く関連する方法
- ○ 良質なコミュニケーションの信頼関係で離職者を少なくする方法
- etc…

日時	令和6年８月27日（火）13:00～17:00 ※開場12:45　交流会有　〆切：８月21日（水）
開催場所	川崎信用金庫本店 2階 大会議室 川崎市川崎区砂子2-11-1
募集定員	32人（最低催行人数８人） ※1企業（団体）様のご参加は２名まで
申込先	「川崎市SDGsプラットフォーム 健康経営分科会」事務局（担当：吉田） メール：shozo.44da@sei-ltd.com 電話　：090-3225-2106

当日、野菜摂取レベル測定機器「ベジチェック®」も体験いただけます！

センサーに手をかざすだけ！
約20秒で測定できます！
ご参加いただいた方には
測定結果シートを差しあげます！

川崎市SDGsプラットフォームとは？：かわさきSDGsパートナー（川崎市認証）が協力・連携し、
お互いの強みやノウハウを活かして、自主的に活動することを目的に設置（事務局：川崎市・川崎信用金庫等）

健康経営の疑似体験

ビジネスゲーム

SDGs経営の要素を高速学習する健康経営ゲームを体験するメリット

健康経営ゲームを体験することで自社の健康経営をシミュレーション体験

■従業員に、自分の役割を明確にするための社内コミュニケーションを学ばせることで、**離職を予防**できる

■単なる「健康経営優良企業」の称号だけではなく、**非財務価値の意識向上**で社内の風通しが良くなり社員の生産性がアップする

生産性の向上と組織の活性化 → 離職職員が減少 → 業績向上や株価向上

相互に深く関連する、SDGs経営・ESG経営・健康経営

■従業員の健康を守りながら、企業の長期的な競争力を高め、持続可能な社会の実現に貢献する為の重要な手段。これは、企業のSDGs経営とESG経営の取り組み促進を意味します。

体験者様の声

■**会社の発展には従業員の健康が不可欠**
・健康経営の取り組みを進めていく中で「健康」にフォーカスしがちだったが、 従業員が健康な状態でないと、会社の発展につながらないということがよく分かった。

■**当たり前だけどできないことに気づけた**
・従業員の健康に配慮し、積極的に投資することの大切さと難しさ。研修でのコミュニケーションを活性化させる方法としてもいい研修だと思います。

■**健康経営がSDGs経営やESG経営との関連性を知ることができた。**
・職場でも出来そうな筋力トレーニングを体験して、会社で習慣づけられそうと感じました。

従業員の健康を意識した経営とSDGs

- ●従業員の幸せ、やりがいを重視、目標設定がなされている
- ●チームビルディング、適材適所、アイデアカ、実行力
- ●部門間連携、相互理解、全体把握、情報がオープン
- ●体力、精神、信頼、資金全てにおいて適正経営
- ●以上の取り組みが浸透し定着していくとジェンダー平等にもつながります。

SDGs、ESG、健康経営は、相互に深く関連しています。

健康経営を実践することは、従業員の健康を守りながら、企業の長期的な競争力を高め、持続可能な社会の実現に貢献するための重要な手段です。これらの概念を統合的に捉え、実践することで、企業は持続可能な発展に寄与し、社会全体の幸福を促進することができます。それは、企業のSDGs経営とESG経営の取り組み促進を意味します。

SDGsの目的
世界のすべての人々の経済的社会的福祉が確保されて、恒久的な平和と安全が2030年に実現するよう、今の我々の世界を変革すること ≒「目標達成」

ESGの目的
非財務評価の「環境破壊」や「人権侵害」など国際的な規範にもとづいて、最低限の基準に達していない企業を投資対象から除外すること ≒「課題解決」

健康経営の目的
従業員の健康と福祉を優先し、職場環境を改善して生産性と企業の持続可能な成長を促進し、経済的・社会的価値を同時に追求すること ≒「生産性向上」

SDGsとESG、健康経営の概念図

Copyright ... reserved.

SDGs

10月1日（火）

SDGs考え方を活かし地方創生の本質を理解し健康経営の連携を体験しませんか！

健康経営

地方創生

本ワークショップはカードゲーム【SDGs de 地方創生】を通じ、体験的に地方創生の仕組みを学びながら、健康経営との関わりを理解・探究します
下記のような学びを深めます

- ○ 地方創生の本質を理解し企業の地域連携を促進する方法
- ○ 健康的なまちづくりを促進する方法
- ○ 地方創生と健康経営の関係を体験的に理解する
- ○ ESG促進に役立つ健康経営を体験するビジネスゲームの紹介　etc.

日時	令和6年10月1日（火）13:30～16:30
開催場所	てくのかわさき　第５研修室 川崎市高津区溝口1－6－10
募集定員	20人 ※1企業（団体）様のご参加は２名まで
参加費	1,000円　かわさきSDGsパートナー得点 Peatixコード [SEI/1]のご利用で500円
申込先	Peatix（外部サイト）からチケットを購入ください https://peatix.com/event/4126338/view
お問合せ先	「健康経営分科会」事務局 担当：吉田 メール ： shozo.44da@gmail.com 電話 ： 090-3225-2106

KAWASAKI SDGs
川崎市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

川崎市SDGsプラットフォーム分科会
主催：健康経営を探求し構想し実現を目指す分科会
共催：株式会社エス・イー・アイ：社会環境研修所

川崎市SDGsプラットフォーム分科会とは？：かわさきSDGsパートナー（川崎市認証）が協力・連携し、お互いの強みやノウハウを活かして、自主的に活動することを目的に設置

地域コミュニティー

地域連携で実現する、企業の健康経営と持続的成長

SDGs de 地方創生で体験する、地域・社会課題の解決プロセス

■SDGsの考え方をヒントに、地方創生における「全体性」や「対話と協働」の重要性を体感的に学べるカードゲームです。

■日本各地の自治体や、ソーシャルセクターの具体的なアクションを題材に、多様なプロジェクトの実行を通じて持続可能な地域のつくり方を理解するゲーム型プログラムに参加。

■ゲーム中の学びから地方創生がうまくいくケースとそうでないケースの間にある違いは何かを考え、その上で「今、何が可能か？」という問いと向き合い、参加者一人一人が行動変容を起こすきっかけを提供します。

地域コミュニティ強化で実現する、住民と従業員の健康向上

■地方創生の取り組みは、地域コミュニティの活性化を目指します。これにより、住民や従業員の社会的つながりが強化され、心身の健康が向上することが期待できます。業はこれを通じて健康経営を強化できます。

地域資源と企業資源の活用

■地方創生において、地域資源の活用が重要です。地域独自の健康資源（食材、温泉、自然環境など）を活かすことで、従業員や住民の健康促進が可能となり、企業の健康経営に役立ちます。また、企業資源（技術力、資金、人材など）を地域に提供することで、地域経済の活性化や持続可能な発展を支援し、企業の社会的責任を果たすと同時に、従業員の満足度向上や企業ブランドの強化にもつながります。

持続可能な地域連携と健康経営

■地方創生の視点を取り入れることで、企業は地域社会と連携し、持続可能な形で健康経営を実現できます。地域の持続可能な発展と企業の健康経営が相互に補完し合う関係が構築されます。

参加者が得られる学び

■健康経営の新たな視点獲得
「SDGs de 地方創生」カードゲームを通じ、地域資源を活用した健康経営のアプローチを学び、実践的な知識を身につけます。

■地方創生を通じた健康促進
地域資源と連携したビジネスモデルを理解し、地域の健康資源を活用した従業員や住民の健康促進策を考案できます。

■地域連携による企業価値向上
地域社会との連携を強化し、健康経営を推進することで、企業のESG促進や社会的責任（CSR）と企業価値を向上させる方法を学びます。

■SDGsの健康目標への貢献
健康経営と地方創生の相乗効果を通じて、SDGsの目標達成に貢献する具体的な方法を体得します。

地域資源と企業資源

SDGs

1月15日（水）

フィジカル

トレーニング

川崎市SDGsプラットフォーム
「健康経営を探求し構想し実現を目指す分科会」主催

組織活性化実践、体験講座
フィジカルトレーニング & ビジネスゲーム
～生産性向上・離職率低下・業績アップを実現～

中小企業の経営層や総務担当者が抱える課題である「**生産性の向上**」「**社員の離職率低下**」「**チーム力強化**」を、楽しく効果的な体験を通じて解決することを目指した体験講座です。
本セミナーでは、**科学的根拠に基づいたフィジカルトレーニング**と、**戦略的思考を鍛えるビジネスゲーム**を組み合わせた、画期的な課題解決プログラムです。
健康経営という言葉にとらわれず、**即効性のある成果**にフォーカスした内容で、**組織のパフォーマンスを根本から向上**させる仕組みを学びます。

日 時	令和７年１月15日（水）10:00～13:00 〆切：１月10日（金）　※ 開場 9:45
開催場所	川崎市男女共同参画センター すくらむ21 会議室 川崎市高津区溝口2丁目20-1
募集定員	20人 ※1企業（団体）様のご参加は3名様まで
参加費	一般参加：3,000円　SDGsパートナー：1,000円
申込先	メール：inform@sei-ltd.com 電話： 050-3707-7046（担当：吉田）

体験者様の声

■会社の発展には従業員の健康が不可欠
・健康経営の取り組みを進めていく中で「健康」にフォーカスしがちだったが、 従業員が健康な状態でないと、会社の発展につながらないということがよく分かった。

■当たり前だけどできないことに気づけた
・従業員の健康に配慮し、積極的に投資することの大切さと難しさ。研修でのコミュニケーションを活性化させる方法としてもいい研修だと思います。

■フィジカルトレーニングの重要性を知ることができた。
・職場でも出来そうなフィジカルトレーニングを体験して、会社で習慣づけられそうと感じました。

川崎市SDGsプラットフォーム分科会とは？：かわさきSDGsパートナー（川崎市認証）が協力・連携し、お互いの強みやノウハウを活かして、自主的に活動することを目的に設置

ビジネス

トレーニング

この講座は、健康経営を考える「きっかけ」にも最適ですが、それ以上に、**実際に業績向上**を目指す全ての企業におすすめです。
運動が苦手な方でも楽しめる内容で、「**気づいたら成果が出ていた**」と感じていただけるはずです。ぜひ、ご参加ください！

人生100年時代を見据えた**ビジネスアスリート**

講義 10:00~11:00

■Physical Context（フィジカルコンテクスト）は、ビジネスパーソンや一般の方々のパフォーマンスアップ、体力づくりのためのプログラムを提供いたします。

■日々いろんなことに挑戦している経営者はもはや**ビジネスアスリート**です。経営者でなくとも仕事や日常生活でより良いパフォーマンスを上げるために、**フィジカルトレーニング**は欠かせま

せん。おひとりおひとり様の体力に合ったプログラムを体験いただきます。

講師
株式会社 Physical Context　代表取締役　中村波雄
柔道男子日本代表ストレングス担当(2001～2008年)
JOC(日本オリンピック委員会)柔道競技 情報戦略スタッフ(2001～2012)

ビジネスゲームで**自社の健康経営をシミュレーション**体験

講義 11:00~13:00

生産性の向上と組織の活性化 → 離職職員が減少 → 業績向上や株価向上

■従業員に、自分の役割を明確にするための社内コミュニケーションスキルを向上させることで、**離職予防**に効果性をもたらします。

■単なる「健康経営優良企業」の称号だけではなく、**非財務価値の**

意識向上で社内の風通しが良くなり社員の生産性がアップします。

ビジネスシュミレーションゲーム

それぞれのゴールを持つ
8人の社員となって

会社の増収増益のため奮闘しよう！

講師
株式会社エス・イー・アイ（略歴:SEI）　代表取締役　吉田省三
ポジティブ心理カウンセラー(2019年～)
川崎市SDGsプラットフォーム健康経営分科会 会長(2020年～)
一般社団法人 国連支援SDGS促進協会 理事(2022年～)

従業員の健康を意識した経営とSDGs

●従業員の幸せ、やりがいを重視、目標設定がなされている
●チームビルディング、適材適所、アイデアカ、実行力
●部門間連携、相互理解、全体把握、情報がオープン
●体力、精神、信頼、資金全てにおいて適正経営
●以上の取り組みが浸透し定着していくとジェンダー平等にもつながります

SDGs

1月18日（土）

平間SDGs フェスティバル 出展

子どもには、
楽しみながら体を動かす

大人には、
フィジカルフィットネスを

KAWASAKI SDGs

健康経営で企業と地域を元気に！
～川崎SDGsプラットフォーム 健康経営分科会～

健康経営分科会とは？

かわさきSDGsパートナーが連携し、健康経営の実現を目指す自主的な活動を行っています。
健康管理を経営的な視点で考え、従業員の活力向上や生産性の向上等、組織の活性化をもたらし、業績向上や株価向上に繋げる戦略的な実践を目指す健康経営とは!?を探究をしています。

※川崎市SDGsプラットフォームとは？：かわさきSDGsパートナー（川崎市認証）が協力・連携し、お互いの強みやノウハウを活かして、自主的に活動することを目的に設置

これまでの活動実績　～活動を通じた「健康経営」の促進支援 ～

・分科会メンバーによる健康経営に関する情報（参加講座など）を持ち寄り、 検証し、探究して健康経営促進の向上について理解を深めています。
・健康経営の本質を学ぶ「ビジネスゲーム & フィジカルトレーニング体験会」を開催（年4回）

自社の健康経営をシミュレーション
～ 楽しみながら学ぶ ビジネスゲー & フィジカルトレーニング ～

■離職率の低下と従業員満足度の向上
・従業員に、自分の役割を明確するための社内コミュニケーションを学ばせること、
・人生100年時代を見据えたビジネスアスリートの育成で、離職を予防！
■生産性向上と企業価値の向上
・単なる「健康経営優良企業」の称号だけではなく非財務価値の意識向上
■健康的な職場環境づくりが企業イメージを向上
・健康への投資が企業の成長を後押しする重要性を認識

従業員の健康を意識した経営とは

お金以外にもゴールがある：従業員の幸せ、やりがいを重視、目標設定がなされている
パフォーマンスが高い：チームビルディング、適材適所、アイデアカ、実行力
つながりがある：部門間連携、相互理解、全体把握、情報がオープン
ゆとりがある、ぎりぎりではない：体力、精神、信頼、資金、全てにおいて適正経営
以上の取り組みが浸透し定着していくと**ジェンダー平等**にもつながります

※「健康経営に関心をお持ちの企業様は、以下までお気軽にお問い合わせください。

連絡先：川崎SDGsプラットフォーム健康経営分科会 事務局担当者名　SEI 吉田省三
メール：shozo.44da@gmail.com　　電話：090-3225-2106

1月18日（土）

学校や地域で継続的に健康づくりを支援するプログラムの提供を目指して

この出展は、運動が苦手・嫌いな子どもたちでも楽しみながら体を動かし、健康維持のきっかけを作ることを目的としています。また、保護者や先生方には、自身の体力の衰えに気づき、無理なく健康を維持できるフィットネストレーニングを体験していただきました。

出展の成果と今後の展望として、

・子どもたちが運動を「楽しい」と感じるきっかけを提供できた。

・保護者・先生方が自身の体力低下に気づき、健康維持の必要性を認識した。

・SDGsの「健康と福祉」（SDG3）と「働きがいと経済成長」（SDG8）に関連する取り組みとして、地域全体での健康促進の重要性が共有された。

本プログラムは、フィジカルトレーニングの専門家で、当分科会のアドバイザーの中村波雄氏（株式会社Physical Context代表）に監修していただきました。

SDGs

健康経営ゲームの目的

1. 健康の定義・健康経営について知る

2. 健康が組織・業績にもたらす影響について知る

3. 明日からできる健康施策を1つでも実施する

健康経営ゲームの効果

1. 健康経営への意識と知識を高めることができる

2. 健康への投資と仕組み化の必要性について学ぶ

3. チームビルディングに役立つ

『健康経営ゲーム』を活用した研修の流れ

1 健康経営の簡単な説明

研修講師から「健康経営」について簡単にレクチャーをさせていただきます。講師からの問いかけを通じて、自分の健康という「資産」への自覚を促します。

2 ゲームのルール説明

『健康経営ゲーム』では「実際の健康経営と同じ理屈でゲームが成立している」ことに気付いてもらえるように、ルール説明ではゲームと現実とのリンクを訴えます。

3 『健康経営ゲーム』の実施

難しい理屈は脇に置いてゲームを楽しみましょう。ゲーム中はその人の人柄が出てくるので、自他の今まで知らなかった一面を見ることができます。また、短時間で成功と失敗が繰り返されるので、ゲーム研修は非常に盛り上がります。

4 振り返り

研修講師からの問いかけに答えることでゲームのプレイを振り返ります。参加者は「健康を維持することがゲームでの好成績に繋がった」ことに気づき、これまでは無自覚だった「健康経営の大切さ」を認識できるようになります。

健康経営ゲーム

ゲーム体験者の声

“健康経営の取り組みを進めていく中で、「健康」にフォーカスしがちでしたが、従業員が健康な状態でないと、会社の発展につながらないということがよく分かった”

“健康に対しての考え方、特に社会的な健康について新しい視点だと思いました。ゲームは健康経営の本質をつかんでいると感じました。会社の目標と各従業員の目標がそれぞれあり、達成することが大切ですね”

“従業員の健康に配慮し、積極的に投資することの大切さと難しさ。研修でのコミュニケーションを活性化させる方法。いい研修だと思います。ありがとうございました”

“ターンを重ねるごとに、チームを超えて一体感がでてきた。健康の定義と、健康が経営に及ぼす影響を数字だけでなく、ゲームで実感できた”

“普段をおこなっている健康診断やストレスチェックでは見えにくい、自身の健康状態を把握できた。健康経営を推進する立場として本日参加したが、それを実際に行っていくことの難しさをとても感じた。健康経営は、身体の健康だけでなく、仕事への満足度も含め、心も満たして健康にしていくことの大切さを改めて感じた”

“健康を土台にしたうえで、コミュニケーションをしっかりとり、自分たちがやるべきことを明確にした上で行動するという、当たり前だけどなかなかできないことに改めて気づけた”

“まるで会社の縮図だった。健康について考える、経営とつなげて考える良いチャンスとなった”